

鳥取県環境教育等行動計画（案）に係るパブリックコメントの実施結果

1 募集期間

平成26年9月12日（金）から10月3日（金）まで

2 応募件数

電子メール	県民課へ	計
6（6）	1（1）	7（7）

※意見件数。応募者数は括弧書き。

3 主な意見と対応方針

項目	主な意見の概要	対応方針
県の取組	環境教育・学習アドバイザーの活動支援や啓発を行政の役割として明記してほしい。	県の取組として、環境教育・学習アドバイザーの登録・紹介に加え、資質向上研修の実施を追記。引き続き人材の活用を図ることとする。
実践行動	環境教育の実践を数値化して、レベルを上げていくロールプレイングゲームのような体験型など、環境教育を「面白いもの」にするのはどうか。 「まじめ」に「真剣」に楽しむ教育方法を作り上げてほしい。	行動計画では、体験型の環境教育プログラムの作成、体験型の環境学習の機会を提供している施設等を紹介しているところであり、これらを活用するなど、引き続き「まじめ」に「真剣」に楽しむ環境教育の実践に努めていきたい。
	知識経験実践経験のある個人及びNPO、事業者の力を借り、周知していくことは県民に広げるいい方法だと考える。 Facebook、YouTube等で発信してほしい。	行政、県民、事業者、民間団体等の相互連携・協働取組の実施により、引き続き各主体、各媒体を通じた情報発信に努めていきたい。
進行管理	どんな結果が出たなら関心、理解度が高まったとするのか、どんな具体的行動が実現したら教育の成果があったと判断できるのか、わかりにくい。 達成度が見える判断基準が必要。	環境基本計画の実行計画であるとして環境イニシアティブプランでは、TEAS認定数、こどもエコクラブ設置市町村数等、環境教育を含めた各種目標指標を設定し、定期的に進行管理しているところであり、行動計画自体には目標指標を掲載していないものの、とっとり環境イニシアティブプランで目標指標の設定・進行管理を行っていることを示している。